

# 文学と語学教育——佛教大学英米学科 1 回生 対象の意識調査の分析 (3)

松 本 真 治

## 1. はじめに

文学と語学教育のあり方の方向づけを見据えるために、2007年度より英米学科新入生を対象にアンケート調査を実施している<sup>(1)</sup>。本稿では2011年度の調査結果を報告するとともに、過年度（2008年度から2010年度）の調査結果と比較し、年度によって学生の意識に違いが見られるのかも検討する。

過年度と同様に、アンケート調査は英米学科 1 回生必修科目である「英米文学入門 1 H」（春学期）の第 1 回目の授業時に実施し、調査対象としては 1 回生の回答に限定している。

## 2. アンケート方法

2008年度から採用しているアンケート項目を受け継ぎながら、以下のような形式で実施した。

### 1) 学年について

1. 1 回生    2. 2 回生    3. 3 回生    4. 3 回生（編入生）  
5. 4 回生以上

(一つだけ丸をつけてください)

2) 英米文学は勉強すべきだと思いますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

3) 英語を読むとき、和訳は必要ですか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

4) 英会話は必要ですか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

5) 次の英米の作家・作品について [①知っている ②聞いたことはある ③知らない] をつけてください。

〈省 略〉

6) 文学（日本・外国を問わず）は好きですか？ どんな文学ですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

7) 映画は好きですか？ どんな映画ですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

8) 日本語字幕なしの英語音声だけの映画は好きですか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

9) 英語を習得するためには「読む」という作業は必要だと思いますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

10) 英語で書かれた本は好きですか？ その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

11) 授業以外で英語で書かれたものを读みますか？ その理由も書いてください。

1. 日常的に読む 2. ときどき読む 3. 読まない

(一つだけ丸をつけてください)

12) 授業以外で英語で書かれたものを读みたいですか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

13) 英語で書かれたものを读むなら、どんなものが读みたいですか？ 次の選択肢から選んで丸をつけてください。(複数回答可)

1. 小説 2. 詩 3. 新聞 4. 雑誌 5. ノンフィクション 6. 歴史  
7. リーダー [やさしい英語で書き直された本] 8. TOEIC / 英検等の試験対策問題

14) 英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

15) 目標とする英語力はどの程度ですか？そのためにどんな学習が必要だと思いますか？

16) 英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか？その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

2008年度から2010年度のアンケートでは、項目(3)は「英語を読むとき、英文和訳は必要ですか？」となっていたが、2011年度は「英語を読むとき、和訳は必要ですか？」というように語句修正を施した<sup>(2)</sup>。「英文和訳」を自分で和訳することではなく、(他者によって)和訳されたもの、と解釈している学生もいることが自由記述欄から見受けられたので、両方の解釈を含めるという意図で「和訳」という表記にした。

### 3. アンケート結果

本稿では、完全自由記述項目(15)「目標とする英語力はどの程度ですか？そのためにどんな学習が必要だと思いますか？」と、各項目の自由記述欄の結果については割愛し、順位レベルの結果についてのみ報告する。なお、質問項目につけられた番号はアンケート用紙に記載された番号とは異なる。

	実施日	在籍者数(1 回生)	回答者数
2011年度	4 月12日	93	89

①英米文学は勉強すべきだと思いますか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2011年度	25 28.1%	38 42.7%	24 27.0%	0 0.0%	1 1.1%

②英語を読むとき、和訳は必要ですか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2011年度	33 37.1%	32 36.0%	29 32.6%	5 5.6%	0 0.0%

③英会話は必要ですか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2011年度	79 88.8%	8 9.0%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%

④文学（日本・外国は問わず）は好きですか？

	好 き	どちらかと言え ば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
2011年度	14 15.7%	19 21.3%	35 39.3%	13 14.6%	8 9.0%

⑤映画は好きですか？

	好 き	どちらかと言え ば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
2011年度	62 69.7%	14 15.7%	9 10.1%	3 3.4%	1 1.1%

⑥日本語字幕なしの英語音声だけの映画は好きですか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2011年度	9 10.1%	13 14.6%	28 31.5%	22 24.7%	17 19.1%

⑦英語を習得するためには「読む」という作業は必要だと思いますか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2011年度	64 71.9%	23 25.8%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%

⑧英語で書かれた本は好きですか？

	好 き	どちらかと言え ば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
2011年度	8 9.0%	15 16.9%	44 49.4%	9 10.1%	13 14.6%

⑨授業以外で英語で書かれたものを读みますか？

	日常的に 読む	ときどき読む	読まない
2011年度	1 1.1%	36 40.4%	52 58.4%

⑩授業以外で英語で書かれたものを读みたいですか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2011年度	32 36.0%	40 44.9%	13 14.6%	2 2.2%	2 2.2%

⑪英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2011年度	66 74.2%	18 20.2%	5 5.6%	0 0.0%	0 0.0%

⑫英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2011年度	48 53.9%	23 25.8%	17 19.1%	0 0.0%	1 1.1%

⑬英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？(複数回答可)

	小 説	詩	新 聞	雑 誌	ノンフィクション
2011年度	61 68.5%	17 19.1%	26 29.2%	26 29.2%	18 20.2%

	歴 史	リーダー	TOEIC / 英検等
2011年度	5 5.6%	18 20.2%	21 23.6%

※リーダー：やさしい英語で書き直された本

⑭次の英米の作家・作品について [知っている／聞いたことはある／知らない] をつけてください。

	知っている	聞いたことはある	知らない
チャーサー	9 10.1%	20 22.5%	60 67.4%
シェイクスピア	55 61.8%	33 37.1%	1 1.1%
ミルトン	7 7.9%	32 36.0%	50 56.2%
ジェイン・オースティン	1 1.1%	13 14.6%	75 84.3%

ワーズワース	2	7	80
	2.2%	7.9%	89.9%
コールリッジ	0	3	86
	0.0%	3.4%	96.6%
バイロン	4	13	72
	4.5%	14.6%	80.9%
ディケンズ	6	15	68
	6.7%	16.9%	76.4%
ブロンテ姉妹	1	6	82
	1.1%	6.7%	92.1%
ハーディ	1	5	83
	1.1%	5.6%	93.3%
オスカー・ワイルド	3	25	61
	3.4%	28.1%	68.5%
D. H. ロレンス	3	18	68
	3.4%	20.2%	76.4%
ジェイムズ・ジョイス	1	5	83
	1.1%	5.6%	93.3%
T. S. エリオット	1	13	75
	1.1%	14.6%	84.3%
イエイツ	0	3	86
	0.0%	3.4%	96.6%
グレアム・グリーン	0	3	86
	0.0%	3.4%	96.6%
サマセット・モーム	0	1	88
	0.0%	1.1%	98.9%
コンラッド	0	3	86
	0.0%	3.4%	96.6%
ジョージ・オーウェル	1	13	75
	1.1%	14.6%	84.3%
バーナード・ショー	2	13	74
	2.2%	14.6%	83.1%
E. M. フォースター	3	4	82
	3.4%	4.5%	92.1%



ヴァージニア・ウルフ	0 0.0%	6 6.7%	83 93.3%
エドガー・アラン・ポー	8 9.0%	19 21.3%	62 69.7%
マーク・トウェイン	3 3.4%	2 2.2%	84 94.4%
メルヴィル	1 1.1%	4 4.5%	84 94.4%
ロバート・フロスト	1 1.1%	5 5.6%	83 93.3%
ヘンリー・ジェイムズ	0 0.0%	19 21.3%	70 78.7%
フィッツジェラルド	0 0.0%	5 5.6%	84 94.4%
フォークナー	0 0.0%	8 9.0%	81 91.0%
ヘミングウェイ	20 22.5%	36 40.4%	33 37.1%
オー・ヘンリー	5 5.6%	21 23.6%	63 70.8%
スタインベック	1 1.1%	5 5.6%	83 93.3%
テネシー・ウィリアムズ	1 1.1%	16 18.0%	72 80.9%
アーサー・ミラー	1 1.1%	13 14.6%	75 84.3%
ソール・ベロー	0 0.0%	3 3.4%	86 96.6%
サリンジャー	0 0.0%	2 2.2%	87 97.8%
アップダイク	0 0.0%	1 1.1%	87 97.8%
『ハムレット』	39 43.8%	39 43.8%	11 12.4%

『マクベス』	9	16	63
	10.1%	18.0%	70.8%
『リア王』	15	27	47
	16.9%	30.3%	52.8%
『オセロー』	4	19	66
	4.5%	21.3%	74.2%
『ロミオとジュリエット』	70	17	2
	78.7%	19.1%	2.2%
『ベニスの商人』	23	42	24
	25.8%	47.2%	27.0%
『自負と偏見』	4	9	76
	4.5%	10.1%	85.4%
『オリバー・ツイスト』	7	10	71
	7.9%	11.2%	79.8%
『クリスマス・キャロル』	20	35	34
	22.5%	39.3%	38.2%
『荒地』	2	16	70
	2.2%	18.0%	78.7%
『ジェイン・エア』	0	2	87
	0.0%	2.2%	97.8%
『嵐が丘』	4	6	79
	4.5%	6.7%	88.8%
『ガリバー旅行記』	50	35	4
	56.2%	39.3%	4.5%
『ドリアン・グレイの肖像』	0	7	82
	0.0%	7.9%	92.1%
『ダーバヴィル家のテス』	0	3	86
	0.0%	3.4%	96.6%
『チャタレイ夫人の恋人』	2	8	78
	2.2%	9.0%	87.6%
『闇の奥』	0	3	85
	0.0%	3.4%	95.5%
『月と六ペンス』	0	2	86
	0.0%	2.2%	96.6%

『ユリシーズ』	0	3	86
	0.0%	3.4%	96.6%
『インドへの道』	0	5	84
	0.0%	5.6%	94.4%
『ダロウェイ夫人』	1	3	85
	1.1%	3.4%	95.5%
『第三の男』	1	7	81
	1.1%	7.9%	91.0%
『怒りのぶどう』	0	7	82
	0.0%	7.9%	92.1%
『マイ・フェア・レディ』	10	12	67
	11.2%	13.5%	75.3%
『白鯨』	3	11	75
	3.4%	12.4%	84.3%
『モルグ街の殺人』	0	10	79
	0.0%	11.2%	88.8%
『老人と海』	9	20	60
	10.1%	22.5%	67.4%
『武器よさらば』	0	14	75
	0.0%	15.7%	84.3%
『ハックルベリイ・フィンの冒険』	1	2	86
	1.1%	2.2%	96.6%
「賢者の贈り物」	2	6	81
	2.2%	6.7%	91.0%
「最後の一葉」	4	3	82
	4.5%	3.4%	92.1%
『デージー・ミラー』	1	1	87
	1.1%	1.1%	97.8%
『響きと怒り』	1	2	86
	1.1%	2.2%	96.6%
『はつかねずみと人間』	0	10	79
	0.0%	11.2%	88.8%
『偉大なギャツビー』	0	2	87
	0.0%	2.2%	97.8%

『誰がために鐘は鳴る』	6	20	63
	6.7%	22.5%	70.8%
『ガラスの動物園』	0	4	85
	0.0%	4.5%	95.5%
『セールスマンの死』	0	3	86
	0.0%	3.4%	96.6%
『ライ麦畑で捕まえて』	8	37	44
	9.0%	41.6%	49.4%
『風と共に去りぬ』	25	40	23
	28.1%	44.9%	25.8%

### 3. 2011年度と2008～2010年度の比較

#### 3.1 2008～2011年度の比較

①から③の質問項目について、2008年度から2011年度の4年間の調査結果に差が見られるかを検定してみると以下のようになる<sup>(3)</sup>。

クラスカル・ワリス検定（2008年度～2011年度）

	同順位補正 p 値 (上側確率)
①英米文学は勉強すべきだと思いますか？	0.4048
②英語を読むとき、和訳は必要ですか？	0.0166*
③英会話は必要ですか？	0.6385
④文学（日本・外国は問わず）は好きですか？	0.0535
⑤映画は好きですか？	0.8609
⑥日本語字幕なしの英語音声だけの映画は好きですか？	0.3673
⑦英語を習得するためには「読む」という作業は必要だと思いますか？	0.9334
⑧英語で書かれた本は好きですか？	0.9633
⑨授業以外で英語で書かれたものを读みますか？	0.1929

⑩授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？	0.0460*
⑪英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？	0.0327*
⑫英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか？	0.1286

### $\chi^2$ 検定 (2008年度～2011年度)

	p 値 (上側確率)
⑬英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？ (複数回答可)	0.8934

13項目のうち、②「英語を読むとき、和訳は必要ですか？」、⑩「授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？」、⑪「英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？」の3項目については、p 値<0.05となっており、危険率5%で有意差が認められる。その他の項目については、4年間の調査結果に有意差は認められない。

### 3.2 2011年度と過去の単年度との比較

4年間全体の比較において有意差の認められた3項目について、2011年度と2008～2010年度の各年度を比較すると以下のようになる。

#### マン・ホイットニ検定

②英語を読むとき、和訳は必要ですか？	同順位補正 p 値 (両側確率)
2008／2011	0.1587
2009／2011	0.3755
2010／2011	0.0523

いずれの年度間の比較においても p 値>0.05となっており、2011年度と過年度との間に有意差は認められない。②「英語を読むとき、和訳は必要ですか？」という項目に関しては、2011度が過年度と異なる傾向にあるということではない<sup>(4)</sup>。

マン・ホイットニ検定

⑩授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？	同順位補正 p 値 (両側確率)
2008／2011	0.0520
2009／2011	0.0290*
2010／2011	0.0093**

⑩授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2009年度	23 27.1%	32 37.6%	21 24.7%	3 3.5%	6 7.1%
2010年度	22 24.7%	34 38.2%	22 24.7%	5 5.6%	6 6.7%
2011年度	32 36.0%	40 44.9%	13 14.6%	2 2.2%	2 2.2%

⑩「授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？」という項目に関しては、2011年度は2009年度とは危険率 5 % (p 値<0.05) で、2010年度とは危険率 1 % (p 値<0.01) で、それぞれ有意差が認められる。具体的な数値を見ると、2011年度は80.9%の学生が質問に対して「そう思う」「どちらかと言え  
ばそう思う」と肯定的な回答をしており、2009年度では64.7%、2010年度では62.9%にとどまっている。

マン・ホイットニ検定

⑪英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？	同順位補正 p 値 (両側確率)
2008／2011	0.1331
2009／2011	0.0482*
2010／2011	0.5610

⑪英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
2009年度	51 60.0%	23 27.1%	10 11.8%	0 0.0%	0 0.0%
2011年度	66 74.2%	18 20.2%	5 5.6%	0 0.0%	0 0.0%

⑪「英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？」という項目に関しては、2011年度は2009年度との間に危険率5% ( $p$  値 $<0.05$ ) で有意差が見られる。具体的な数値を見ると、2011年度は94.4%の学生が質問に対して「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と肯定的な回答をしており、2009年度の87.1%を上回っている。

## 4. 考 察

2011年度の調査結果と2008年度から2010年度の3年間の結果を比較した場合、全体的にはほぼ同じ傾向にあると考えることができる。「授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？」と「英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？」の2項目については、2011年度には過年度とは異なる傾向が見られる。しかしながら、元々全体的に肯定的な傾向にあったところに、2011年度はさらにその肯定的な傾向が強くなったということであり、その意味では大勢に影響はないと考えられる。

本研究の主たる目的である文学と語学教育に対する学生の意識については、2011年度のアンケート結果からは次のようなことが読み取れる。

- ・ 7割の学生が、英米文学を勉強すべきであると感じており、否定的な回答も少ない。
- ・ 7割を超える学生が、英語を読むときに和訳が必要だと感じている。
- ・ 文学が好きだという学生は少なく、4割強にとどまっている。また「どち

らとも言えない」という回答が4割程度となっている。

- ・ほとんどの学生が、英語習得のために「読む」作業は必要であると感じている。
- ・英語で書かれた本については、「好き」という回答が25%程度であり、「どちらとも言えない」という回答が半数を占めている。
- ・すべての学生が授業以外で英語を読んでいるということではなく、それどころか6割に近い学生が「読まない」と回答している。しかしながら、8割の学生が授業以外でも英語を読みたいと感じている。
- ・9割以上の学生が英語で書かれた文学を読むことが英語の習得に役立つと考えており、否定派はいない。
- ・ほぼ8割の学生が、英米文学の基礎知識を必要だと感じている。
- ・読みたいものとしては、小説の人气が最も高く、7割程度が読みたいと感じている。同じ文学作品でも一般に敬遠されがちな詩であるが、それでも2割程度の学生が興味を示している。その一方で、歴史はあまり人気がないようである。
- ・英米文学の作家・作品についても、ほとんど知られていないというのが現状であり、シェイクスピアや『ガリバー旅行記』はよく知られているようである。

総じて言えることは、学生ははじめから〈英米文学なんて無用〉とは感じておらず、知識としても語学学習にも必要だと感じているということである。そして、文学（日本・外国）や英語で書かれたものに接する機会のなさ、英米文学の知識のなさも同時に指摘することができるであろう。自由記述欄を見ると、「文学（日本・外国を問わず）は好きですか」に対して「どちらとも言えない」と答えた35名のうち、6名が「あまり読んだことがない」ということを記入している。また、「英語で書かれた本は好きですか」に対して「どちらとも言えない」と答えた44名のうち、17名に「(あまり) 読んだことがない」というような記述が見られる。

「英語を読むとき、和訳は必要ですか」という質問における「和訳」の解釈



であるが、自由記述欄を見る限り、大半が〈和訳されたもの〉と解釈しており、〈和訳作業〉と解釈していると考えられるのは8名であった。昨今では、教師が作成した和訳文を生徒に配布するというスタイルの授業が高等学校で実践されているということも決して珍しいことではない(Cf. 金谷)。和訳作業であれ、配布された和訳文であれ、これらの介在なしに英語をそのまま直読直解するという学習スタイルが、多くの学生にとっては身近なものになってはいないというのが実状のようである。

※本稿は、日本英文学会関西支部第6回大会(2011年12月18日、関西大学千里山キャンパス)での口頭発表「FDのすすめ：佛教大学英米学科2011年度新入生を対象とした文学と語学に関する意識調査」に基づくものである。

#### 注

- (1) 2007年度は完全自由記述方式のアンケートで調査を実施した(松本 2008)。この予備調査を受けて、2008年度からは量的に測定できる選択方式のアンケート(自由記述欄付)に変更した(松本 2011)。
- (2) 松本(2011)では、「英語を読むとき、和訳は必要ですか?」(14頁、17頁、26頁)と表記しているが、正しくは「英語を読むとき、英文和訳は必要ですか?」である。ここで修正しておきたい。
- (3) 2008~2010年度の調査結果の個々の数値については、松本(2011)を参照。
- (4) この項目に関しては、2009年度と2010年度の間には有意差はない。しかし2009年度と2008年度は危険率5%で、2010年度と2008年度は危険率1%で、それぞれ有意差が認められる(松本 2011、26頁)。

#### 引用文献

- 金谷憲、高知県高校授業研究プロジェクト・チーム(2004)『和訳先渡し授業の試み』三省堂
- 松本真治(2008)「文学と語学教育——佛教大学英米学科1回生対象の意識調査の分析」佛教大学英文学会『英文学論集』第15号 49-68頁
- 松本真治(2011)「文学と語学教育——佛教大学英米学科1回生対象の意識調査の分析(2)」佛教大学英文学会『英文学論集』第18号 13-28頁